

＜新聞記事より＞

○中日新聞 2024年9月16日(月)

自然の中 ピアノの美しい音色



豊かな自然に囲まれたステージで行われた演奏会＝大鹿村の大西公園で

コソサートには村内外から観客が足を運んだ。南アフリカは眼下に村の中心地や天竜川支流の小渋川が見えるステージで、ショパンの「バラード4番」やリストの「ラ・カンパネラ」などのほか、生まれ育った伊那市を流れる天竜川を表現した自作の曲も披露。公園近くを流れる小渋川の水の

天竜川表現 自作曲も

音と一体となって響いた。
1961(昭和36)年に大雨で大西山が崩落した
「三六災害」の犠牲者をしのび、鎮魂の思いも込めて奏でた。

伊那市出身のピアニスト、平沢真希さんが自然の中で演奏するネイチャーピアノコンサートが15日、大鹿村の大西公園であった。南アルプスを望む公園で美しい音色を響かせた。

○南信州新聞 2024年9月20日(金)



青空の下 太鹿小生と共演

大西公園にピアノ響く

平澤さん屋外コンサート

伊那市出身のビッグ二スト、平澤真希さん（57）のピアノコンサートが15日、鹿村大河原の大西公園であった。自然の中にピアノを持ち出していく演出をする平澤さんの「ネイチャーピアノ」の一環で、東アルプスを望む公園の屋外ステージで立派な色を響かせた。

村内外から来場した観客が、芝生の上で目を澄ませた。平澤さんはバッハの「主よ、人の望みの喜びよ」マヌネの

「ダイスの瞑想曲」などクラシックの名曲や、自身が作曲した「天への回帰」、「龍」などを演奏。鐘を意味するリストの「ラ・カンバネ」では、会場が現場となつた1961(昭和36)年三六災害のとを演奏に合わせて歌つた。

太西山崩落の状況が紹介され、犠牲者に祈りを込めた。平澤さんは2019年から「ネイチャーピアノ」に取り組んでいる。屋外スティージは同村伝統の土鹿歌舞伎を見立てて装饰され、演奏が終るたびにおひねねが飛んでいた。